

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館運営協議会
開 催 日 時	令和7年3月19日（水） 10時00分 ～ 11時45分
開 催 場 所	赤堀歴史民俗資料館研修室
出 席 者 氏 名	(委 員) 村田会長、矢島副会長、塩崎委員、萩原委員、前澤委員 宮崎委員、栗原委員 (事務局) 吹上文化財保護課長、川道主幹、竹中主査
傍 聴 人 数	0人
会 議 の 議 題	協議事項 令和6年度事業報告について 報告事項 収蔵資料展「ガラスの箱のおひなさま」について
会 議 資 料 の 内 容	令和6年度赤堀歴史民俗資料館事業報告
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1 開会 2 会長挨拶 3 協議事項 (1) 令和6年度事業報告について 事務局から令和6年度事業報告を提示し了承された。 【意見の概要】 ・子どもが昔の道具を実体験できる取り組みは大変良いことである。 ・機織り目的で来た子どもが、待ち時間を使って昔の道具に触れられる事業設計は大変良い。 ・鶏形埴輪のMR体験事業は、実物とは異なる楽しみ方ができ、資料館の可能性を広げるものである。 ・MR体験事業を通じて、資料館が大学と連携していることが広く知られたことは大変良い。 ・小学校と連携して行った取り組みが、学校内だけでの学びを超えて地域の取り組みにまで広がったことは素晴らしい。 ・機織り体験に参加した子どもたちからは好意的な感想が寄せられている。 ・紀要の発行やボランティア活動の充実など、登録博物館に向けた取り組みが着実に実行されている。 ・学芸員の配置が必須ではない「指定施設」という区分もあるので、将来の登録博物館を見据えながらも、指定施設という近い目標から着手していても良いのではないか。

	・寄贈資料の今後の取り扱いについて、個人情報を含むものや歴史認識などの観点から配慮が必要なものもあるので、留意いただきたい。 4 報告事項 (1) 収蔵資料展「ガラスの箱のおひなさま」について 事務局から資料展の概要について報告した 【意見の概要】 ・ガラスケース入りの人形を贈る風習はいつ頃まであったのか。 ⇒各ご家庭の事情によるところが多いが、資料としては昭和30年代が最も多い。 5 その他 ・基本計画策定に向けた協議について ・次年度の協議会体制について ・資料館の人事について 6 閉会
--	---